

區長問題で 五町目採める

馬目(武)町議等の専斷に 一部區民が憤慨

平町五丁目區長は去る十六日の町會に於て山部政治氏に決定した事既報の如くであるが、之は町議馬目武之助氏一派の人々のみが策動して町長に推薦したもので同町の實例となつてゐる役員の承認を得たものでなく、又選舉によつたものでもない。山部氏の區長決定を知つた區民は大いに驚き調査の結果右の事實が判明したので急選役員會の承認を得んとしたが役員會は承認せず山部氏も區長を辭退するに至り一方馬目町議の専斷に憤慨してゐる區民は青沼町長に取消しを迫る可く寄々協議中で内紛を醸してゐる。

貸家案内

- 長橋町十二階建五間水道付
- 南町五、二階建三間
- (以上五丁目貸屋商店)
- 平町田町野崎自動車部跡(賣却も御相談に應ず)家主平野崎喜八郎
- 田町マルカ書店跡 家主加藤正保
- 平町古銀治町三六、六、八、二、三、玄關、水道、井戸附、勤人向、家主平町十五町目三崎金作
- ▲求人
- ▲女中
- 十五六歳(平警察署官舎小林來盛)
- 二十歳前後月五圓(平町長橋町大峰秀吉)
- ▲車夫
- 四十歳以下(平町田町須藤鶴之助)

高久村下高久字八幡志賀秀雄
○中學三年修、二十七才、茨城縣久慈郡譽田村上大門五七七黒羽貞三
△雜夫
○尋四修、内郷村竹の内三二島野長松

- ▲出前持
- 十五六歳位(平町四町目十一屋)
- ▲雜夫
- 四十歳以下(鎌田町金成國雅)
- 二十歳乃至三十歳、月六圓十圓(四倉町仲野藤鶴松)
- ▲牛乳配達
- 十七八歳位月七、八圓(平町鎌田町岡田牛乳舎)
- ▲求職
- 事務員
- 磐城佑賢二年修、二六歳、

コンボーク
鹽豚

平町田町
三三三三屋
電話三三三三番

蒲鉾製造開始

氷水賣出中は特別の御引立に預り有難く御禮申上ます
本日より例年の通り蒲鉾製造を開始しましたから倍舊の御引立を願ひ上げます

かまぼこ

折詰仕出し

御惣菜用さつま揚、吉原揚

平町二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番

内科 小兒科
花柳病科
藤沼醫院
(入院應需)
平町紺屋町
電話平園五〇七番

胃腸病加答兒の妙藥
健胃 ビスミット散

効能
◎時候あたり ◎くだり腹 ◎ねびるはら ◎水あたり ◎食しやう ◎酒あたりのくだりはら ◎せんきすばくくだりはら ◎其他しふりはら ◎一切

定 價 三分(三貼)三十錢 (七貼)六十錢

調劑本舗 **小野屋藥店**
平町字四丁目
電話百四十四番

夜間診療
胃腸病科
性病科

花柳病科
性病科
皮膚病科
婦人科

門 專
院醫科性病村松
(番七〇一電町南町平)

消費節費
本位家庭染料
みやぶ染

平町一丁目
特約店 **大平や藥店**
電話四六二番

石炭
平驛前
阿部石炭店
電話三七番

耳鼻咽喉科 專
氣管食道科 門

病室完備：自炊の便あり
平町南町 **大和田醫院**
電話一七〇番

油と味噌
山崎合名會社
福島縣平町

電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

東神火災保險株式會社
東神火災保險株式會社
磐城代理店

河田鐵工場
河田 梅吉

營業所 福島縣平町白銀町一
電話三二九番 二九五番
本社 東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部 仙臺市大町三丁目

貸切御用命
三井自動車部へ
電話六八五番

乗合は 好問・合戸・澤渡方面行
助手 至急募集